

星田山手ボランティア街づくり推進会 10年(設立10周年)の活動経緯

星田山手地区が誕生して50年近くになりますが、当初の入居者の方もかなり高齢になり、子や孫の多くが地域外に出て行かれ、今では交野市で高齢化率が最も高い地域になっています。ここで育った子や孫がいつでも喜んでUターンや帰省してくれるような「安心」で「安全」に暮らせることが出来る「住みよい街づくり」を進めていく必要があります、それにはセイフティネットと同時に地域住民がお互いに親睦を図り、交流できる場所や機会が必要になって来るのではないかと考えております。このような思いをもって10年前に「星田山手ボランティア街づくり推進会」が設立され、色々な行事を企画し皆さんのお役に立ちたいと活動してまいりました。これからも皆さんの積極的な御参加をお待ちしております。

ボランティア立ち上げ初期の活動状況

1. イベント広場、和み広場の開墾整備

2008年の4月、人の背丈もある雑草と雑草で見えなかった不法投棄品、掘り返せば出て来る大きい石やコンクリートの塊を除去しながら重機を借りて開墾・整地を行いました。荒地は今では「花と緑の和み広場」に変身し、四季の花々、綿の栽培など地域の方々の和みの場所になっています。



開墾・整備前の和み広場



出てきた不法投棄品の数々



大きな石もゴロゴロ



やっと畑らしくなりました

2. 傍示川遊歩道の整備

和み広場の整備に先立つ同年の2月、傍示川の右岸(川下より見て)はニセアカシアを始めとする雑木で覆われ人々を寄せ付けませんでした。数十メートルもある背の高い木や大きく張った根を除去するのは簡単ではありませんでした。何日もかけ皆さんの協力でやっと道らしく整備され、桜も植樹され木も大きくなり、花も立派になりました。ベンチもおかれ遊歩道として多くの方に喜ばれています。



桜の木も植えました(左側)



川下から見た整備前の傍示川
右側が整備予定場所

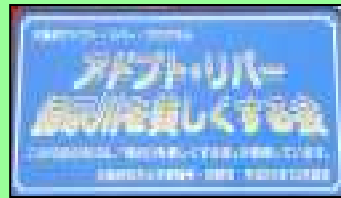


無数の雑木を伐り倒し・掘り起こして整備を進めました



川下から見た整備後の傍示川
右側が整備された遊歩道

2008年秋には大阪府の方から「アドトリバー」の認定を頂き、山手橋の広場内に認定のプレート及び看板を立てられ記念の植樹が行なわれました。



アドトリバー認証のプレートです



アドトリバー説明の看板

日常的な年間活動状況

1. 「どんど焼き」を開催

従来は自治会行事として実施されてきましたが、全てボランティア傘下の「ドンド実行委員会」で運営するようになりました。この行事は日本古来の伝統行事ではありますが神事と同時に餅つきも実施し、地域の方々の親睦を図り、1年間の平安をお祈りしております。神事は当初星田山手自身で行っていましたが星田神社の協力で宮司さんに執り行って頂くようになりました。



餅つきも行われちびっ子も楽しく参加しています



どんど本体の完成です



宮司さんによる神事



どんどが燃え上がりました



参加者にはぜんざいが振舞われました

2. 傍示川散策道の草刈り・整備

傍示川に関するボランティア活動は「傍示川を美しくする会」として年に5~6回草刈清掃を行ってきました。これまで遊歩道の大掛かりな整備や桜の植樹を実施して来ましたがいつも綺麗に維持しようと思えば定期的な草刈清掃が必要です。最近では交野市よりシルバー人材センターのご協力を得ています



多くの草刈機で傍示川の清掃です

3. 「傍示川花見大会」を開催

今年(2016年)で9回目になる傍示川花見大会も年々参加者が増えて、皆さんの楽しみの一つになっているようです。特別なアトラクションがあるわけでもありませんが、春の一日久し振りに出会う方との交流が非常に大事であると思います。僅かな時間ですが親睦を深めるために利用して頂きたいと思います。



無料の豚汁も振る舞われました



多くの来賓の挨拶です



植樹された桜も花を付け出しました



近隣の地域の方も参加頂きました

4. 「天の川清掃」に参加



不法投棄品を引き上げています

交野市内の「天の川を美しくする会」の活動に協賛する形で年1回天の川の清掃に参加しています。天の川は夏に実施されていましたが「織姫の里・天の川星まつり」の中心となる川ですが、交野市の七夕伝説にも無くてはならない重要な川です。しかしながら、川に投げ込まれたかあるいは流れてきた粗大ゴミが多く見受けられます。傍系川と同時に私達の地域を流れている川をいつまでも綺麗に守りたいものです。

5. 「ソーメン流し大会」を開催

2014年までに10回の「ソーメン流し大会」を実施しましたが場所の都合で昨年からは中止になりました。夏の盛りにおける一服の涼感を味わえる行事ではなかったかと思えます。約1週間前から青竹を伐り出して半割にして階段横の斜面に設置して水の流れを調節して当日に備えました。近隣の地域ではめったにない行事として最近では地域外からの参加者も多かったようです。子供たちの夏の思い出の一つとして十分に楽しんで頂きました。



水路を設置しています



多くの参加者で賑わいました



箸でソーメンをすくい上げるのも難しそうです



テント近くでは飲物を手に話が弾んでいます

6. 「織姫の里・天の川星まつり」に参加

交野市の市制40周年記念事業として従来の「交野まつり」と「天の川七夕まつり」が一体になった形として開催されました。



行燈を天の川に並べました



顔出しパネルはいつも好評です

7. 「盆踊り&夏まつり」を開催

「盆踊り&夏まつり」は山手地域の年間で一番大きい行事です。春頃から毎月実行委員会を重ね、自治会、地域の方々の協力を頂いて今年で9年目を迎えました。暑い中を何日も前から草刈、踊りの練習、会場の設営等々皆さんのご協力で今年も盛大に実施出来ました。また数年前から設置してきましたステージでは各種イベントが実施出来大演芸会気分です。来年もまたがんばりましょう！



模擬店はちびっ子の楽しみです



来賓の方のご挨拶



「チームよさこい」の熱演



ちびっ子たちも張り切っています



遅くまで踊りの輪が続きました

8. 「ちびっこラジオ体操」の応援



リーダーに合わせてイチ！ニイ！ 家族の方も多く参加

子供たちの夏休みの後半、10日間前後の日程で朝6時30分からNHKのラジオに合わせてイベント広場でラジオ体操が行われました。ボランティアの会員の指導で大人も子供も清々しい空気を吸って一斉に行うのは気持ちの良いものです。ちびっ子体操は夏休みだけです年間を通じて地域住民の方のラジオ体操は行われています。

9. 「コスモスまつり」を開催

コスモスの花がほぼ満開になる10月初旬、イベント広場でコスモスまつりが開かれます。2016年で9回目になりますが約300名の方が参加頂きました。今回もボランティア名物の芋煮汁も無料で振る舞われました。飲物で歓談して頂き、またコスモス畑を散策して頂くのも楽しいものです。コスモスまつり以後は和み広場のコスモスは自由にお持ち帰り頂けます。



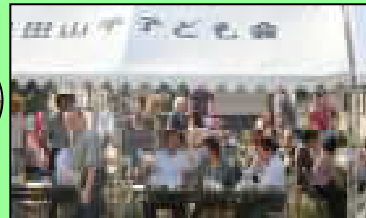
本日よりお持ち帰りOKです



芋煮汁の準備も万端です



来賣の方も多く参加頂きました



秋の1日を楽しんで頂きました



コスモス畑をゆっくり散策

10. 「山ナリエ」の応援

最近では電力消費の少ない明かりも多く採用され、また点灯期間も短くして諸般の事情にも配慮して実施されています。2012年からは従来より毎日の点灯時間も従来よりさらに30分短くして省エネに配慮されました。事前の公共場所の設置準備、点灯式、交通警備とボランティアの皆さんには大変ご苦労をお掛けしております。近年はマスコミによる報道もあって多くの方が見学に来ておられます。本年度山ナリエ実施20周年を迎えますが、山ナリエ実行委員会(金谷委員長)としては統一的な山ナリエ行事は本年度でとりあえず終わりということになりました。これまで長い間ご協力頂いた皆様には大変感謝しております。有難うございました。



山ナリエ見学者による震災義援金も市役所を通じて送りました



11月早くも公共場所の飾り付けです



点灯式にも多くの方が参加



12月末までの点灯です



寒い中の交通警備

11. 学童の登下校の見守り

学童の登下校の見守りを始めて8年になります。新聞紙上では、これまでも登下校の子供たちが巻き込まれる交通事故や事件が後を絶ちません。交通ルールやマナーを子供たちに指導すると同時に、事件から子供たちを守るボランティア活動が期待されています。学童見守り活動の中では「挨拶運動」も同時に展開されており、当初声を掛けても返事が返って来ない子供たちも最近では子供の方から元気な声で挨拶が聞かれます。見守り隊の皆さん朝早くからご苦労様です。



学童は挨拶をして安心して登校



横断歩道は気を付けて！



見守り隊の面々

12. バスツアーの開催

今年で第6回になる、年に1回の星田山手地域の日帰りバスツアーを2月に実施致しました。日頃はボランティア活動にご協力頂いている会員の皆様や地域住民の方々に温泉に入ってゆっくり話し合っ頂く良い機会が6年前から実施しています。生き帰りに普段いけない所の見学や、バスでの帰りは車内でクイズや全員での合唱等、お互い昔に還ったような気分でバスツアーを楽しんでいただいております。次回も多くの方のご参加をお願い致します。



参加者で記念写真撮影
(第5回 紀三井寺にて)



楽しく食事の時間です

その他 不定期な活動状況

1. 傍示川沿いの山手東住宅の土留め作業の実施

星田山手区内の星田山手東の傍示川に面する住宅の斜面で、がけ崩れが何時発生するかわからない部分に大阪府と共同で補修工事を実施しました。斜面に土留めの板を杭で設置し、その中へ土砂の入った土嚢を積み上げて行きました。取敢えず2日間実施しましたが土嚢は1万袋近く使用し、肉体的にかなり厳しい作業でした。地域の安全は先ず地域の方々が動くことが重要だと思います。



土砂の入った土嚢をベルトコンベアに乗せるのは大変でした



土嚢は土留めの内側へ均等に
入れ込んでいきます



参加頂いた方々です。ご苦労様でした。

2. 傍示川散策通路の補修工事

数年前の夏場には豪雨が多く、交野市内でも今までにない道路や河川の被害が発生しました。傍示川の散策道も特に傾斜のある部分は通路の土が流され道に大きな窪みが発生するなど被害が出ていました。道に土留め用の板を太い木の杭で設置し、セメント入りの土砂で押し固めました。これでまた散策を楽しんで頂けます。



土留めを設置してセメントを混ぜた土砂で固めます



材料は市役所からもらいました

3. 救急救命講習会を開催



皆さん真剣に講習を受けています

自治会館にAEDが設置された時期とほぼ同じくして最初は18名のボランティア会員が救急救命講習会を消防本部で受講して来ました。「AED」の使用のみならず心肺停止の方が居られる場面に出合った時速やかに対応できるよう今後も訓練を重ねて行きたいと思います。消防署の指導では少なくとも2年に1回は受講して少しでも体で覚えられよう今年も12月に4回目の受講を計画しています。ボランティアの会員のみならず星田山手地域の多くの皆さんの参加をお待ちしております。

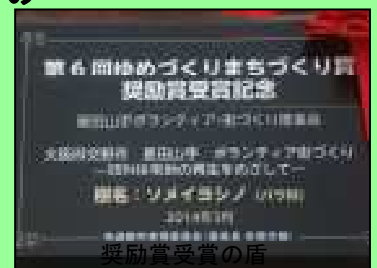
4. 国土交通省の第6回「ゆめづくりまちづくり賞」を受賞

2013年秋、国土交通省近畿整備局傘下の快適都市実現委員会(安藤忠雄委員長)主催の「第6回ゆめづくりまちづくり賞」に星田山手ボランティア推進会より日頃の活動について応募しました所、見事奨励賞を受賞することになり翌年3月4日山手橋横の広場で表彰式典を開催されることになりました。表彰式当日は国土交通省近畿整備局や枚方土木の幹部の方々、交野市からは市長、副市長を始め関係幹部、市会議員、警察幹部等々の皆さんが参加され、奨励賞の盾の授与及び記念植樹が行われました。

尚、応募テーマは「星田山手ボランティア街づくり-郊外住宅の再生をめざして-」であります。詳しくは国土交通省のHPで見ることが出来ます。



奨励賞の盾です



記念植樹の看板です

最後に

星田山手ボランティア・街づくり推進会が結成されて9年半が経過しました。これまでは上記以外にも防災訓練への支援活動や法面の清掃、グランドゴルフコースの整備等々活動して来ましたが、今後の5年間、10年間先のことを考えると「星田山手ボランティア・街づくり推進会」全体としての体力の低下は否めません。少しでも体力の低下を遅らせるためには皆様のご協力が必要になって来ます。今後ともご支援、ご協力宜しくお願い致します。